



平成 18 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 大宮 久
(コード番号 2531 東証、大証 第 1 部)
問 合 せ 先 取締役 IR 室長 松崎 修一郎
T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

中間期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 15 日に公表した平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の中間期連結業績予想を、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。なお、通期業績予想につきましては、現在集計中であり、平成 18 年 11 月 14 日に予定している中間期の決算発表時にお知らせする予定です。

記

1. 平成 19 年 3 月期 中間期連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 15 日発表)	98,000	2,500	1,000
今回修正予想 (B)	96,300	3,200	1,600
増 減 額 (B)－(A)	△1,700	700	600
増 減 率 (%)	△1.7	28.0	60.0
ご参考:前中間期実績(平成 18 年 3 月期)	92,649	2,764	2,419

2. 修正の理由

売上高につきましては、当社子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証マザーズ)が 10 月 17 日に開示しております通り、バイオ事業において期初予想を上回りますが、酒類・食品事業における計画未達により、期初予想を下回る見通しです。経常利益につきましては、両事業ともに経費削減に努め、販売費及び一般管理費が減少する等、期初予想を上回る見通しとなり、上方修正いたします。中間純利益につきましても、経常利益の増加に加え投資有価証券の売却益等により、期初予想を大幅に上回る見通しです。なお、宝ホールディングス単体の中間期業績予想につきましては修正はございません。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、平成 18 年 11 月 14 日発表予定の中間期決算発表数値とは異なる可能性があります。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。